

▼別ショットの写真



今月の表紙は、幸田中央公園の河津桜です。ほかの桜よりも一足先に見頃を迎える河津桜。今年は3月14日に満開となり、公園を訪れた人たちの目を楽ませていました。取材に訪れた日は、菱池保育園の園児がお散歩で中央公園に来て春の陽気の中、外遊びを楽しんでいました。

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのサークル紹介・みんなの作品展への応募をお待ちしています。
〒444-0192 菱池字元林1-1幸田町役場企画政策課情報グループ
☎62-1111(内線334) FAX63-5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

日本民踊研究会 花の木会



民踊とは、古き時代から全国各地にある民謡に振りをつけたものですが、今では新民踊、歌謡舞踊などさまざま踊りが楽しめます。民踊の良さは、年齢を重ねても踊りを楽しめること、踊ることにより心身ともに健康になれることです。

「踊って心に灯を」、「踊りの輪を人の和に」。花の木会は平成12年に発足し、今年で18年目となりました。花の木会もいろいろな舞台に出演させていただ

いています。舞台後の反省会では時間も忘れて大いに盛り上がります。花の木会は皆さん優しく親切で全く遠慮のない気楽なサークルです。いつも和気あいあいとにぎやかに楽しんで稽古をしています。一度、見に来てください。お待ちしております。

連絡先

花の木会 会主
本田 豊峰久(久枝)
☎62-6782

サークル紹介

この指とーまれ 165

みんなの作品展!

「子ども会書初め作品展」からのセレクトです。



中央小 井貝 百花さん



深溝小 齋藤 のぞみさん

*作品は昨年度のものです。

皆さんの作品を募集します。応募方法はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、企画政策課情報グループまでお送りください(デジカメ写真の場合はメールで)。

市内の方言

「みこがっこう」

「あいつぁー、みこが、いいもんなー」

4月。会社の後輩にも先を越され、ぼやくお父さんに、聞くに堪えないお母さん……

「人がどうこうじゃないなら。あんたがややーいーじゃん、横着しとらんで」

「あいつは、上司の受けがよいからなあ」

(中略)

「人がどうこうじゃないでしよう。あなたがやればいいのよ、怠けていないで」

この「みこがっこう」の「みこ」とは、「見込み」が転じたものだと思います。そこで、「見込み」を辞書で引いてみると、「①見た様子。見かけ。②先行きの予測。③将来の可能性や望み。④建築の部材の奥行き。⑤茶碗の内部の底のあたり」と出てきました。この中で、③は、「なかなか見込みのある青年だ」のように、ある人物に入れ込む意味でも使われますので、これが転じて、評判や人気が、人の受け止め方を「みこがっこう」とか「みこが悪い」とか言うようになったと考えます。

新年度がスタートしました。「みこ」が良くて悪くても、上を向いて踏み出しましょう。

(文・つねゆ)



青春 トークリレー
第301走者

すがめま せりな
菅沼 芹奈 さん

横落区在住 19歳 職業 学生
血液型 B型 身長 155cm
好きなタイプ 運動ができ、優しい人

好きな芸能人 佐野 玲於

私は今、スポーツインストラクターになるために専門学校に通っています。卒業後は幼児体育の先生になり、子どもたちにスポーツを教えたいと考えています。ですが、少子高齢化が進み、スポーツをする子が減ってきているのが現状です。そんな中、1人でも多くの子がスポーツに触れ、元気に成長してくれたら良いと思います。また幸田町では、町民の人が気軽にスポーツに参加できる環境を作り、地域活性化を図っていると思います。そこに子どもたちが、積極的に参加できるような環境作りに貢献していきたいです。そのために今、自分自身の体力、技術、知識を磨き上げ、すてきなインストラクターになれるように頑張ります。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
企画政策課までご連絡ください。
本人のご家族にお渡しできます。



先輩に学ぶ会「夢を叶えるために」



愛知工業大学名電高等学校で甲子園優勝を果たし、プロ野球選手になった柴田亮輔さんが、母校である中央小学校を訪れ、「夢を叶えるために」というテーマで講演を行いました。現在は引退してフタバ産業野球部の監督を務めている柴田さん。講演では、自分がプロ野球選手になるために取り組んだこと、プロ野球選手として積み重ねた努力などについて児童たちに熱く語り掛けました。また講演の後には、校庭で野球教室を開催し、実技指導を受けた児童たちは大喜びでした。



①講演を行った柴田亮輔さん
②③野球教室の様子
④素振りを披露してくれました

こんにちは！ 編集者のHです。いよいよ新年度が始まりますね。春と言えば出会いと別れの季節です。そんな訳で各学校の卒業式へお邪魔してきました。多くのご父兄さんに見守られる中、挙行されました。厳粛な雰囲気の中、入場する卒業生の凛々しい表情、卒業証書授与で名前を呼ばれた時の返事、学校生活に別れを告げるべく校歌を歌う姿、どれを取ってもすてきでした。最後、卒業生が退場する時には私も目頭が熱くなってしまう。年を取ると涙もろくなるものですね。また、学校によっては、卒業生が退場する時にクラス全員で担任の先生に向かって感謝の気持ちを叫ぶシーンもありました。青春っていいなあと感じた瞬間でした。あの頃の友は元気にしているだろうか、先生方はどこにいらっしゃるだろうか、などと思いを馳せています。そんなことを思った卒業式でした。（卒業式の様子は5月号で紹介予定です）

新しい環境に不安もあるかも知れませんが、でもきっと新たな出会いが待っていることでしょう。期待に胸を膨らませながら、「よしやっけてやるぞ」という気持ちで新たな門出を迎えましょう！（H）

ちょっと
編集者の
ひょうりん